



燃える黒陵

がむしゃらに勉強し、進路達成に燃える黒陵生
ひたむきに技と心を磨き、部活動に燃える黒陵生
伝統を誇り、遠大の志を持って青春を燃やせ!

黒陵通信 2016年 第4号

平成 28年8月23日

岩手県立黒沢尻北高等学校 校長 菊池浩

2016-NO. 4

ドイツスポーツ少年団交流 ホストファミリー・茶道体験

『日独スポーツ少年団交流事業』で北上市が8月3日から8月7日まで、ドイツの体操競技少年団(指導者1名、男子1名、女子7名)を受け入れ、鬼の館やヤクルト工場等の市内観光、ふるさと体験館でのスポーツ・餅つき体験、芸能祭の参加などの交流を行った。本校生徒の家族がホストファミリーとなり。また、8月5日には本校を訪れ茶道部との交流で茶道体験を行った。



(左は茶道体験・右はホームステイで浴衣姿を楽しんだ。)

《茶道体験交流を行った茶道部部长・藤原春菜(2年4組)の感想》
8月5日、私たち茶道部はドイツスポーツ少年団の茶道体験のお手伝いをさせて頂きました。ドイツの方々をお茶とお菓子でもてなし、その後は実際にお茶を点てるなど日本の文化を肌で感じてもらいました。英語で交流をしましたがアニメや音楽の話など様々な話をすることができて楽しかったです。緊張して臨みましたがとても暖かく接してもらい、リラックスして楽しむことができてとても良い体験になりました。

《ホストファミリーとして交流した梅木萌花(2年1組)》
今回、ホームステイを受け入れて感じたことは英語を話すのが楽しいということです。最初は間違えたら恥ずかしいという気持ちが強く、積極的に話しかけることができませんでした。会話は単語を並べました。相手も私の言いたいことをくみ取ってくれたおかげで本当に楽しく会話ができるようになりました。ドイツの話も多く聴くことができ異文化に触れることもできました。北上市を案内し、一緒に過ごすことができて充実した4日間でした。ホームステイの受け入れは本当によい経験になりました。体育協会の皆様にも感謝しています。また機会があれば応募し、もっと交流を図りたいと思います。

夏休み部活動の記録 陸上、ソフトテニス、放送、書道、吹奏楽

★陸上部インターハイ(岡山県陸上競技場)

新田峻介 4m60(自己新) 決勝進出ならず、並岡真生 4m80 で11位
新田は初めてのインターハイで予選落ちだったが、4m60をクリアし、自己ベストを20センチ更新した。これは今後につながる大きな自信になったと思う。並岡は上位入賞を目指していたが、自己ベストとなる4m90をクリアできず、4m80で11位となった。4m90に挑戦した最後の跳躍は非常に惜しい失敗となったので悔しい気持ちがある。この悔しさを岩手国体にぶつけ、次こそ上位入賞できるようにしたい。(並岡真生)

★ソフトテニス男子インターハイ(岡山県備前市テニスコート)

○個人: 大粒来・及川 3回戦敗退 鈴木・小野寺 2回戦敗退
及川・小田島 2回戦敗 渡辺・鈴木 2回戦敗退
○団体: 2回戦: 鹿児島商業 3-0 勝利 3回戦: 岡崎城西 1-2 敗退
前回の選抜大会のベスト8(第5位)を越えるという目標を掲げ挑んだ。しかし、ベスト16という昨年度と同等の結果に終わって

しまった。敗因は、自分たちの勝負に対する甘さ、勝負に対する「感度」の鈍さであったと感じている。流れを変える重要な局面でミスを連続し、冷静さを欠き状況把握が間に合わず、打開していく方策を考えながらプレーすることができない場面があった。岩手国体に向け練習やゲームの中で常に本番を想定して、自分たちで適切に判断することに重点を置いたトレーニングに励みます。インターハイでの敗因を改善し、勝因へと変えていきます。(鈴木雄大)

★ソフトテニス部女子(岡山県備前市テニスコート)

○個人: 吉田絢・伊藤紬 0-4 加藤百香・川島ななみ(茨城・つくば国際)
初戦敗退という悔しい結果でした。私自身、高校3年間やってきたことに悔いはありませんが、1・2年生には、普段と違うコート、全く知らない相手でも自分のプレーがしっかり自信をもってできるように1球1球を大切に練習し、どんな時にも動じない選手になってほしいです。県新人戦、県高総体を優勝し、団体では全国大会へ出場し、勝利を目指してほしいです。(吉田絢)

★放送部: 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト(NHKホール他) 入選(6~10位相当) 創作テレビドラマ部門 櫻田門が 入選(11位~20位相当) テレビドキュメント部門 純くんへー 大切な想いをのせてー

今年のNHK杯には、5部門(アナウンス・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作ラジオドラマ・創作テレビドラマ)に出場し、テレビドキュメント部門とテレビドラマ部門の2部門入選という結果でした。4部門全て決勝に上がることができず、とても悔しい思いをしました。今回の全国大会を通して、番組では、カメラアングルでの表現の仕方など多くのことを学んできました。また読みでは、伝えることについての技術がまだ足りないという課題点を改善し、次の大会に繋げられるよう、日々精進し、岩手県大会最優秀賞はもちろんですが、東北大会、全国大会優勝を目標に頑張ります。(佐藤礼佳)

★書道部第32回高円宮杯日本武道館書写書道大覧覧会(東京都ホテルグランドパレス)

参議院議長賞: 高橋 菜々子 フジテレビ賞: 皆方綾
審査委員長奨励賞: 伊藤理莉 日本武道館賞: 久保美友佐々木真依
第21回全日本高校・大学生書道展(大阪市立美術館)
優秀賞: 高橋 菜々子、佐々木真依

日々の努力の積み重ねにより多くの賞をいただくことが出来た。今後は高総文祭に向けて、さらに努力を重ねていきたい。また、いろいろな書体や書風に挑戦することで、部員全員がさらに向上できるように頑張っていきたい。(高橋 菜々子)

★吹奏楽部全日本吹奏楽コンクール第54回岩手県大会(県民会館) 金賞(県代表) <平成29年度全国高総文祭城大会へ推薦>

県大会で金賞を受賞し東北大会出場を決めることができた。当日の演奏は、日々の練習で積み重ねてきたことを発揮できたのではないと思う。しかし大会が近づいてきたときに緊張感を持って練習し、細かいところを詰め切れず、課題の多く残る演奏であった。東北大会まで、各々が県大会の反省を活かしてより良い演奏を目指し努力していきたい。(小原兆喜)

中学生1日体験入学中学生497・保護者67名参加

7月29日(金)生徒会主体の学校説明会で音楽部、吹奏楽部の演奏。放送部の発表、執行部による黒北クイズなど、中学生が楽しむ企画を用意した。授業見学、部活動見学では黒北の文武両道を肌で感じてもらえたと思う。(写真は音楽部の美しいハーモニー)



「学校紹介のPVなどがとても楽しかった。ぜひ入学したくなった。」「先輩がとても優しかった」「勉強も部活も一生懸命充実した高校生活が送れそうだ。」などの意見が寄せられた。

黒陵祭 8月28日(日)一般公開 お待ちしております!
文化部・ステージ・学習発表・食堂・模擬店・職員展示など見所満載!